**6月27日　株式会社ガイアックス　代表取締役社長　CEO　上田祐司　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

起業する際、新しいことを始める際に支援を受けるときに大切なのは「自分の中に強くしっかりとしたビジョンを持っていること。」その言葉は強く心に響きました。この課題をどのような方法で、どのように解決したいか。その思いがあれば大きなことも動かせることは共感できました。そのようなビジョンを持つためには、ある程度の経験が必要だし、そのためにインターンをしたいという考えを今、自分は持っている。Uberについては、名前は聞いたことがありましたが、どういうシステムで、どのような概要だか知らなかったので、海外は結構合理的で、進んでいるなと今日お話を聞いて思いました。上田さんには、大きな強い、ブレないビジョンがあるから、今の世の中に疑問を呈して、sharing economyなどの活動を進められるのだなと感じました。このsharing economyはすばらしいですね。ありがとうございました。（理工学部　機械・材料・海洋系学科　１年）

大学を出てから、初めて社会に出て、勉強不足になるということを教えてもらい、そのためのインターンの重要性を学びました。インターンをして、勉強しなきゃいけないと思うことに触れるという言葉は印象に残りました。今まで、インターンは社会を体験することや仕事選びの参考にするためだけだと思ってましたが、社会に出たときに困らないように勉強するきっかけとしてのインターンという考え方も学びました。ニーズを喚起して、みなが設けようとする今の日本を、シェアリングエコノミーの世界に変えたいということには自分も賛成です。ウーバーは自分もアメリカに行ったときに使ったのですが、消費者同士の助け合いをしているので、利用者側のコストも少なかったし、コミュニケーションの促進にもなるので、とても良いと思いました。また、食べ物のシェアなどもとても画期的な案だと思いました日本でもっとこういうサービスが拡大していってくれたら、皆の生活もより良くなると思います。(経営学部　国際経営学科　2年)

やはり自ら起業して経営をしようと思うとリスクが高く挑戦しがたいなと思っていました。けれど、自分が世の中で解決、改善したいと思うことがあって、それをするために起業が必要であれば、恐れをのりこえて挑戦しなければならないんだと思いました。シェアリングエコノミーはその中心に人々の助け合いのような精神が存在していてすごくいいなと、個人的にすごく気になりました。人口が多かったり、経済格差の大きな国の中でうまく導入できれば効率よく世の中が回るんじゃないかと思いました。私も本当に必要とされる、役に立つ仕事をしたいと思いました。上田さんは本当に現実的なニーズと現代のIT(スマホ)などを組み合わせた考えを持っていらっしゃって素晴らしいと思いました。（経営学部　1年）

アルバイトから自分で屋台を作り、そこから創意工夫をして人々に喜んでもらえる仕事をしたいと思ったということを聞き、本当に上田さんの行動力に脱帽しました。何も考えずに行える単純作業はロボットにでもできるので、やはり、自分で考えて動く仕事を私もしたいなと思っています。

起業するにあたり、アイデアだけがあったとしても、結局、人を巻き込むリスクを考えて怖くなってしまったり諦めてしまったりすることがあるけれど、世の中を変えようという強い思いから、その思いに乗せられた人々を巻き込みビジョンを発信していく勇気を持つことで初めて、ベンチャービジネスが成功するということを聞き、起業は、生半可な気持ちではもちろんできないし、課題解決にむけての勉強にきちんと身が入るほど深く物事について考えられるようにインターンなどたくさんの経験を積む必要があると思いました。(経済学部　１年)

ベンチャーリングの採用の仕方は面白いなと思いました。たしかに独立したいと考えている人はもともとのモチベーションが高いので、仕事に対する意欲は高いと思います。そこに気づいた小林社長の考え方を参考にしたいなと思いました。上田社長の資金や人材、メディアの注目の集め方の仕方も思いました。すべてを同時に集めないといけないからと思い切って全部を同時並行で進めて、みんなが同時に乗ってきたから嘘にならなくても済むという一見ぶっ飛んでいるような考えだけど、成功につながっているのはすごいと思います。（経営　経営　1年）

関西弁の口調と面白い話でとても楽しい講演でした。なぜ、そんなに人前で面白くおかしく大きな声でしゃべれるのか、気になりました。やはり、慣れなのでしょうか？コツコツやることを否定されて、常識を覆された気がしたのと同時に「なるほど」と思い、それくらいダイナミックに行動していくがベンチャー企業を回していくために必要なのかと思いました。また、このことはベンチャー企業だけでなく、別の企業でも言えるし、日常生活でもそう思いました。これくらい常識から離れたことが自分の人生を楽しくする方法なのかと思いました。ありがとうございました。（経済　経済　1年）

今日はとても面白い話をありがとうございました。マックスむらいさんの話や上田さんのエピソードが面白くて、行動力があるすごい人たちだな、こういう人たちが起業して成功するんだろうなと思いました。でも、何か大きなビジネスを始めようとするときに「怖い」と思うということが少し意外で印象に残りました。なんとなく、起業する人はすごく自分に自信を持っていて、自分のビジネスにも確信を持っているようなイメージだったからです。その「怖い」という感情を乗り越えることができる人が成功できる可能性を持っていて、やっぱりそういう人はすごい人だと思います。私は今は起業しようとは考えていないのですが、「怖い」を乗り越えることができる信念や強さは、これからの人生で必要になると思います。大学生のうちにいろいろ自分の人生のこととか、考えていきたいです。（経営学部　経営学科　１年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

まず自分の中のかたい常識を捨てるべきかもしれない。シェアリングエコノミーの話を聞いて、確かに素晴らしいことだけど、本当に可能なの？それお金になるの？とまず考えてしまう自分がいた。そんな考え方自体が固定観念から派生したものであろうし、自分が起業していく上で必要ないものかもしれないと強く感じた。（理工学部　化学・生命系　１年）

ライフプランを持ち、具体的な目標を定めることにより、自分が何をしたいのか明確にしないまま漠然と生活することは絶対に避けなければいけないと思いました。自分たちが現在、資本主義社会から与えられている幸せって本当の幸せなのか疑問を持ったので、幻想を追いかけていくのはやめようと思いました。自分の信じてきた限界を疑ってみようと思いました。（経営学部　経営学科　１年）

シェアリングエコノミーの話のときに、自分がいままで当り前だと思っていたことを、ここが変だなとすごく多くの疑問を持っていて、自分の物事の考え方がどれほど浅はかかを認識しました。なので様々なことに疑問をもって生活をするなどして物事の考え方、見方を広げていきたいです。(経営学部　１年)

・日頃から社会にふれることによって、自分が解決したいと思う問題を見つけ、視野を広げて3年生のうちにインターンシップをする準備をしたい。

・海外で実践されている先進的な経営や事業について学びたい。(経営学部　経営学科　1年)

最後に話していたゾウとロープの話を聞いていて、今の私もまさしくそうだと思いました。高校時代も難しいと言われている検定は「あ、難しいから私がどんなに頑張ってもできないんだ」と思っていたら、本当に全然何もできなかったし、大学に入ってもそれは同様なので、自分を変えたいなと思いました。思うだけではだめなので、行動もできるようになります。(経営学部　経営学科　１年)

**授業スタッフの感想**

まず事務的な報告となりますが、教室が暑いという声がかなり見受けられました。次回はこの意見を考慮する必要があると思います。そして自分の感想を述べさせていただきますが、今回講演してくださった上田さんは、ビジネスをやっていくうえで一番大切なことは「その問題を解決したい！」「これをどうしても自分はやりたいんだ！」などの強い『思い』なのだと明示してくださったのがとても印象的でした。いろいろ思うことはあるのですがここに書ききれないので簡潔に言うと、自分は自分がやりたい事業をできるように突き進むのみだ、と思いが固まってきました。事業が失敗して周りに迷惑かけてしまうのではないかという恐怖心を払拭できる唯一の物は「強い思い」だという言葉もかなり響きました。ありがとうございました。

今回の話は私の固定観念が壊れるいい機会になりました。モノがあふれていて、貧困の格差が大きくなっているこの世の中で上田さんの話はとても新鮮でした。お金だけが大事ではないという考え方はとても共感できるので、私も上田さんのように自分の考えを実行できる人になりたいと思いました。

スタッフたちの質問会での利己利他の話は、今まで長く悩んでいたことを解決させるだけでなく、その後スタッフメンバーが来て、よく議論して仲を深めるきっかけになりました。ある種の転換点になったのではと思うほどです。上田祐司氏と井上先生に感謝しつつ、これからも「自分」を大事にしていきます。

上田氏の話を伺って、資本主義について見直す機会を得ることができました。確かに今現在資本主義は行き過ぎていると感じます。資本主義に代わる革命的な新たな考え方が、シェアリングエコノミーなどを通じて生み出され、格差の生まれない豊かな社会が誕生するといいなと思います。ただ、アンケート集計をしているときに辛口の評価も見かけたことには驚きました。私は充実した講演だと思っていたので。

次回の馬路村村長のお話は、本当に楽しみです。いかにして、地元の資源を有効活用し、戦略的に外に売り出すのか。そこの部分を学びとれたらいいなと思います。また、財政をどのように扱っているのかも知りたいです。